

佐高

スーパー グローバル ハイスクール
SGH通信
No. 1 (平成28年 4月21日発行)

夢は宇宙へ！ 「種子島スペーススクール2016」

2016年3月27日～31日、JAXA（宇宙航空研究開発機構）主催の「種子島スペーススクール2016」が、種子島宇宙センターで開催されました。日本最大のロケット発射場に、全国から選ばれた高校生の精鋭**24名**が集まり、将来の宇宙開発を考えるミッションに取り組みました。

鈴木健大さんと**三木晴太**くん（3-4）は、書類審査の結果、10倍を超える競争率を突破し選抜されました。しかも、高校2年（当時）の男子6名枠の中、佐高生が2名も選ばれたのは、まさに快挙でした。本で行われるSGHのキックオフセレモニーでの報告会にも、5日間お世話になったJAXAの担当の方が見に来て下さいます。



種子島スペーススクール2016は、「好奇心・冒険心・匠の心」を合い言葉に、未来を築いていく人材の育成を目的として開催されました。参加者には、「**2040年、君はこの仲間たちとロケットを打ち上げる**」ことを目指し、次世代宇宙輸送機とその発射場を検討せよ、という**ミッション**が与えられました。その達成に向けて、各班が3日間かけてディスカッションし、その検討結果を発表しました。高校生ならではの発想力で、将来の宇宙開発を考えました。

2人が体験した5日間の主なスケジュールを紹介します。

【第1日目】3月27日（日）

- ・開校式
- ・講義「種子島宇宙センターとロケット」
- ・実習「**モデルロケット製作**」

【第2日目】3月28日（月）

- ・ミッションの説明
- ・グループディスカッション
- ・実習「モデルロケット打上げ」



↑各班が製作したモデルロケット



↑ロケットの打ち上げ



↑パラシュートで着陸

*ロケットは火薬で飛ばす本格的なもの。上空でパラシュートが開き、先頭に装着した生卵を割らないように着陸させます。



↑班の仲間たち

- 【第3日目】3月29日（火）
- ・実習「施設見学ツアー」
「RDCシミュレーション」
 - ・講義
 - ・グループディスカッション
 - ・星空観望会



↑ 講義を受ける2人 ↑

- 【第4日目】3月30日（水）
- ・プレゼンテーション準備
 - ・MISSION報告会

- 【第5日目】3月31日（木）
- ・解散



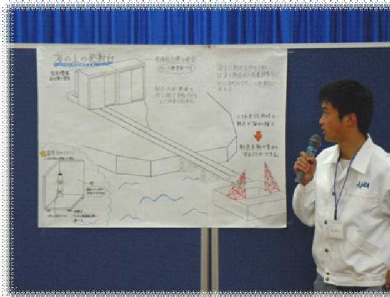
↑ MISSION報告会 ↑



講義風景 ↑



講師 ↑



グループディスカッション ↑

☆このスクールに参加した2人の感想です。

鈴木健大くん

全国各地から集まった参加者は、必ずしも宇宙が大好きという人ばかりではなく、脳科学など、様々な分野に興味や目標をもつ前向きな人たちでした。彼らとモデルロケットを製作し、2040年のロケットや射場を考えるという活動をできたことは、とてもクリエイティブで有意義な体験でした。また、射場の見学や管制シミュレーション、JAXA職員の方との交流などの体験を通して、改めて宇宙開発の魅力に惹かれました。今回の体験をもとに、自分のやりたいことは何かを真剣に考え、その実現に向けて努力するつもりです。

三木晴太くん

種子島での有意義な5日間を送ることができました。参加者は皆、独創的なアイデアを持っていて、その一つ一つに驚かされました。また、宇宙のことだけでなく、科学の甲子園で日本一になったルームメイトの話などには、大いに刺激を受けました。自分も、もっと広い視野と知識を持ちたいと思いました。今回、宇宙開発の現場を見学し、いつか自分もこの世界に携わりたいという思いを強くしました。この情熱を絶やすことなく、これからの受験勉強へぶつけていきます。

★最後に★

鈴木くんと三木くんが体験してきたことは、MISSIONの達成を目標とする**課題研究**であり、全国各地からきた仲間による**協働作業**です。これは、まさに、本校の**SGH活動**で目指している姿でもあります。

こうした体験により、二人が大きな自信と挑戦する勇気を獲得したことは、これから取り組もうとしている私たちにも大きな力を与えてくれました。

二人の今後の活躍を期待しています。

